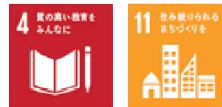


## — ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課 (0897) 65-1301

学校・家庭・地域連携推進事業に係る市町訪問 (11月19日 垣生小)



室(むろ)の説明をする公民館長さん

垣生小学校で行われた地域学校協働活動を参観させていただきました。『地域学校協働活動』とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い方々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びを支えるとともに、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

垣生小学校は、コミュニティ・スクールとして、年間を通じ数多くの地域学校協働活動を行っていますが、今回はその一環で行われた6年生対象の里芋の収穫を参観させていただきました。

公民館長さんをはじめ、地域の方が積極的に関わってくださっており、何気ない児童のつぶやき(疑問)を聞き逃さず、専門的な知識で丁寧に答えてくれていました。

### 室(むろ)の作り方



収穫の仕方にもコツが!



穴を掘り、藁を敷きます。



藁の上に収穫した里芋を!

種芋として活用!



室(むろ)の完成! 長期保存が可能に。



形を整えます。



藁をかぶせ、土を掛けます。

地域の方々を先生としてお招きし、ご指導を仰ぎました。実践的な内容を体感することで、教育の質をより高め、更なる学習意欲へと繋げることができました。また、垣生小ではこのような学びを地域にお返しする機会(発表会や食事会等)がしっかりと設定されており、地域とともに育つ学校づくりが実践されています。



明るい未来へ繋ぐタイムカプセル事業（11月27日、12月3日 大生院中）

ESD 通信 (No.42) にて、ご紹介しました通り、新居浜ライオンズクラブ様から寄贈していただいたタイムカプセルが早速、明るい未来へ生徒たちの想いや願いを乗せて出発しました。

大生院中学校3年生は、11月27日に未来の自分や社会に対して、今の自分の想いを一生懸命に手紙に託しました。コロナ禍の今だからこそ、感じ取ることができた大切なことが詰まった手紙です。

そして、地域の方々のご協力を得て、12月3日に校舎南側の前庭に埋設しました。生徒各自が、タイムカプセル内に手紙を託し、事前に掘っていただいた深さ60cmの穴にカプセルを埋設しました。

埋設式には、地域や学校運営協議会の方々も足を運んでくださいました。タイムカプセルは、令和6年3月2日(土)午前10時【予定】に再会するまで、みんなのことを見守ってくれていることでしょう。



未来の自分や社会を想う活動



明るい未来へ繋ぐタイムカプセル事業（11月20日、12月11日 船木小）



11月20日、船木小学校の6年生は、未来の自分や社会に想いを馳せ、「数年後の日本や世界がどのようになっているのか」、「コロナ禍の今、自分が、自分たちができることは何なのか」、「緊急事態の今こそ大切にしなければいけないことは何なのか」等を、各自真剣に考え、手紙にその想いや願いを込めました。

そして12月11日、6年生の保護者の方々やタイムカプセルを寄贈してくださった新居浜ライオンズクラブの方々をお招きし、タイムカプセルの埋設式を行いました。今現在も世界はコロナウイルス感染症に苦しめられています。しかし、船木小学校では、その逆境に負けることなく、みんなで協力し、知恵を出し合いながら、たくましく学校生活を送っています。そんな児童の姿に、明るい未来を切り拓く力強さを感じます。



このタイムカプセルに込められた想いや願いが、持続可能な社会に必要です。

